

たかぎ



議会だより

No.63

平成25年10月

発行 長野県喬木村議会
編集 議会だより編集委員会
発行責任者 小澤 博
印刷 龍共印刷(株)

第二小学校の運動会



平成24年度決算を認定.....2ページ

委員会報告.....4ページ

一般質問.....6~11ページ

知事・県議会へ要望.....11ページ
(北部町村議会)

この村でがんばってます.....12ページ
(加々須活性化委員会)

平成24年度決算を認定

平成25年 第3回定例会

平成25年 第3回定例会は9月4日開会し、24年度決算、25年度補正予算、条例改正等を審議し9月20日に閉会した。

一般会計・特別会計決算

歳入 57億6,051万3,157円

歳出 53億7,223万8,394円

国の経済対策で事業実施 基金積立は3億5,664万円

起債(借金)より基金(貯金)が 上回る健全財政

起債 25億8,071万円

基金 31億4,537万円

平成24年度 決算の状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	38億2,030万0千円	35億0,137万1千円	3億1,892万9千円	
特別会計	国民健康保険	6億2,814万8千円	6億1,402万0千円	1,412万8千円
	後期高齢者医療	6,419万9千円	6,410万8千円	9万1千円
	介護保険	6億8,568万0千円	6億8,249万2千円	318万8千円
	村営水道	1億6,254万1千円	1億5,638万8千円	615万3千円
	下水道	3億2,008万6千円	2億8,793万3千円	3,215万3千円
	農業集落排水	7,955万9千円	6,592万6千円	1,363万3千円
総合計	57億6,051万3千円	53億7,223万8千円	3億8,827万5千円	

端数処理につき合計額は一致しません

24年度はこんな事業が行われました



移動系防災行政無線の統制台

- 福祉・保健
障がい福祉サービス 1億2,089万円
出産祝金 645万円
- 生活環境
バス運行業務委託 1,365万円
太陽光発電システム設置補助 267万円
- 住宅リフォーム補助 1,013万円
- 農業・道路・公園
村道7号線道路改良 1,357万円
- 防災
デジタル移動系防災行政無線整備 2億5,715万円
- 教育
運動公園ランニングコース改修 3,660万円
中原児童公園遊具設置 488万円
- 公債費
借入金償還 2億620万円

平成25年度補正予算

- 一般会計
- 歳入
・地方交付税 5,429万円
・繰入金 Δ2億円
・前年度繰越金 1億3,619万円
- 歳出
・下伊那北部総合事務組合負担金 391万円
・国民健康保険特別会計繰出金 Δ1,328万円
・保育所広域入所事業 300万円
・職員人事経費 Δ1,035万円
- 国民健康保険特別会計
・税率改正による保険税の増
- 後期高齢者医療特別会計
・予備費の増
- 介護保険特別会計
・予備費の増
- 村営水道特別会計
・予備費の増
- 下水道特別会計
・予備費の増
- 農業集落排水特別会計
・予備費の増

条例の制定・一部改正

- 喬木村子ども・子育て会議設置条例の制定
- 子ども・子育て支援法の規定に基づき、喬木村子ども・子育て会議を設置
- 喬木村営住宅管理条例の一部改正
延滞金の割合等の特例を規定
- 喬木村農業集落排水施設及びコミュニティ・プラント条例の一部改正
延滞金の割合等の特例を規定
- 喬木村後期高齢者医療に関する条例の一部改正
延滞金の割合等の特例を規定

人事

- 教育委員会委員の任期満了により、
喬木村850番地
原三雄氏の任命(再任)に同意した。

専決処分報告

- 斑状歯の治療に対する給付額を定めることについて

議員発議

- ◇道州制導入に断固反対する意見書：関係機関に意見書を提出
- ◇「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書：関係機関に意見書を提出

平成25年度 9月補正予算

会計名		補正金額	予算総額
一	一般会計 (第3号)	▲934万8千円	36億9,779万3千円
特別会計	国民健康保険 (第1号)	1,370万7千円	6億4,970万7千円
	後期高齢者 (第1号)	9万0千円	6,379万0千円
	介護保険 (第1号)	366万5千円	7億0,466万5千円
	村営水道 (第1号)	72万6千円	2億7,072万6千円
	下水道 (第2号)	1,970万7千円	2億4,716万1千円
	農業集落排水 (第1号)	923万2千円	8,123万2千円

常任委員会報告

委員会に付託された案件は、平成24年度一般会計、特別会計6会計の歳入歳出決算の認定および平成25年度一般会計、特別会計6会計の補正予算の認定で、審査の結果、当委員会ではそれぞれ可決した。

質疑

【24年度決算認定】

・一般会計

- Q** 圧着ハガキの作成数は、年間9千通である。
- A** 一般職員と臨時職員の数。
- Q** 一般職員は、正規職員と嘱託を合わせて1111人、臨時は労働時間に幅があり何人とはいえない。
- Q** 消火栓、ホースの管

理点検の把握は。

A 消火栓一式は地元管理となつているため、把握はしていない。不具合があれば要望された。

Q 借入金利子償還経費の当初との差額は、3,400万円繰り上げ償還した。

A 満蒙開拓記念館寄附金の科目は、単年度の経費であり他に該当する科目がないため、社会福祉一般経費とした。

Q 重心母子精神医療（県単）と（村単）の対象者の違いは。

A（県単）は、重度の心身障害者と母子父子家庭が対象。（村単）は県単の対象とならない特定疾患の方である。

Q 緊急通報サービス「ホームネットあんしん」である。

A 「ホームネットあんしん」である。

Q 国保法定外繰出金を一般財源へ戻したが、今後、どうするのか。

A 今後の医療費の動向により対応する。

Q 北・中央保育園の人員調整する地域は、南で区切つているが仕事の関係で中央へ入所させている人もいる。

A 新旧調理場の経費を比較して、どうか。

Q 全体の比較は、移転移動により不明であるが、ガス代は下がり、電気代は上がった。

A 自殺予防、うつ病の理解学習への参加人数は、3回行い、延べ89名である。

Q ヒブワクチン、子宮頸がんの予防接種

A 積極的には取り組んでいない。（H25 8名）

Q ビュー矢筈の貸付料は、月3千円、年3万6千円である。

A 村の観光パンフレット作成部数は、7000部である。

Q 小川水源を使わなくても大丈夫か。

A 断水など状況によつては、小川水源の水も必要である。

Q 普及状況表の全体計画人口は、H21年に見直しを行い、堰下処理区3千500人、帰牛原200人、計3千700人である。

Q 今後、人口が増加したらどうするのか。

A 本年度、計画の練り直しを行いたい。

Q 農業集落排水特別会計水洗便所設置人口の地区別内訳は、伊久間1,085人、富田531人、計1,616人である。

A 債務負担行為補正北部火葬場整備事業負担金8千万円の限度額は、25年度本体工事発注経費は、25年度が1/4、26年度が3/4となる。

Q くりんネット関係職員人事経費の減額理由は、職員異動による差額である。

A 防災センター関係経費で、エアコン購入の緊急性は、室内の温度差は機械によくないため、置き、今後、検討していきたい。

【25年度補正予算】

・一般会計

Q 債務負担行為補正北部火葬場整備事業負担金8千万円の限度額は、25年度本体工事発注経費は、25年度が1/4、26年度が3/4となる。

A くりんネット関係職員人事経費の減額理由は、職員異動による差額である。

Q 防災センター関係経費で、エアコン購入の緊急性は、室内の温度差は機械によくないため、置き、今後、検討していきたい。

A 暑い日が続き、扇風機を使い、水分補給に気をつかった。

Q 各保育園における熱中症はどうであったか。

A 暑い日が続き、扇風機を使い、水分補給に気をつかった。

Q 各保育園における熱中症はどうであったか。

A 富田 塩田地区である。

Q 松くい虫伐倒駆除はどこか。

A 富田地区である。

Q 富田 塩田地区である。

A 富田 塩田地区である。

Q 富田 塩田地区である。



改修された運動公園ランニングコース

総務産業建設常任委員会



総務産業建設常任委員会

委員会に付託された条例の改正は、喬木村営住宅管理条例の一部の改正、喬木村農業集落排水施設及びコミュニティ・プラントの条例の一部改正である。二つの議案とも国の税制改正および地方税の一部改正に伴い、延滞金の割合等の特例を規定するための条例制定であり審査の結果、当委員会はそれぞれ可決した。

予算決算常任委員会の当分科会は、平成24年度の歳入歳出決算（一般会計および村営水道・下水道・農業集落排水の3特別会計）と、平成25年度補正予算（一般会計および村営水道・下水道・農業集落排水の3特別会計）を、それぞれ認定、可決した。

社会文教常任委員会

委員会に付託された条例の制定と条例の一部改正の2件は、審査の結果当委員会はそれぞれ可決した。予算決算常任委員会の当分科会は平成24年度の歳入歳出決算（一般会計および国保・後期高齢者・介護保険の3特別会計）と、平成25年度補正予算

（一般会計および国保・後期高齢者・介護保険の3特別会計）をそれぞれ認定、可決した。

質疑

◎24年度一般会計から

Q 新しくなった調理場運営経費と以前の対比は。

A 運営経費の合計額は新調理場が4万6,917円多くなっている。オール電化なので電

Q 水道料が43万円ほど減っているが？

A ドライシステム（極力水を使わない）の

ため。

◎24年度国保会計から

Q 高額療養費の状況は増える傾向なのか。病気の内容は。

A 23年度は45件。24年度は55件。脳血管疾患は17件（25%）、癌18件（28%）で半数を占める。

◎25年度国保の補正から

Q 今年度の一般会計からの法定外繰り入れ金は5,300万円だが、なぜ4ヶ月しか医療費の状況がわからない今の時期に1,300万円を一般会計へ戻すのか。

A 今年度20%の値上げをし、その税収が上がった分である。療養費等を見込んで、法定外繰り入れ分は返してもらおう。



学校共同調理場

議会日誌

7月	8月	9月
19日 編集委員会（〜8/8 計5回）	5日 北部総合事務組合 全員協議会・臨時議会	4日 第3回定例会 開会 全員協議会
22日〜23日 郡町村議会議長会 視察研修	7日 広域連合議会建設産業経済検討委員会	5日 予算決算常任委員会
24日 災害対策会議	8日 全員協議会	6日 社会文教常任委員会
25日 長野県町村議会議員研修会	9日 北部総合事務組合 全員協議会	9日 総務産業建設常任委員会
29日 広域連合議会環境・福祉・医療検討委員会	19日 北部ブロック町村議会知事県会要望	18日 一般質問・予算決算常任委員会
	20日 第3回定例会 開会 全員協議会	
	27日 県町村議会議長会 政務調査部会	
	27日 編集委員会（〜10/10 計5回）	
	30日 広域連合議会視察研修	
	30日 北部ブロック議員 研修会	
	30日 全国議会広報研修会	
	26日 広域連合臨時議会	
	29日 議会運営委員会	
	30日 北部ブロック正副議長・事務局長会議	

一般質問

10人が問う



村の国土利用計画の見直しは

問 村の国土利用計画が23年に策定された。リニアのルート、駅が発表され、宅地と農地の調和のとれた開発が必要だと考える。国土利用計画を見直し、喬木を飯田のベッドタウンとして人口増対策にしては。

村長 計画策定の過程で三遠南信、リニアの開通も見込みながら策定がされており、早急な見直しは予定していない。農業振興を継続する区域と、必要により転用可能な区域の棲み分けを図っていかなければならないと考える。



横前 豊 議員

小さな拠点づくりとは

問 村が国交省に応募した交流センター中心に、「小さな拠点づくりモニター調査」が選定された。その内容と、村の基本構想にどのように取り入れていくか。

村長 人口減少、高齢化が進み地域の維持を考える中で安心、安全を確保して、持続可能な地域づくりを推進する目的で行われ今回は多くの村民から、素直な、率直な意見を聞き、来年度から取り組む予定の都市再生整備事業に引き継ぎ、具体的な実施計画につなげていく。

東京オリンピック、パラリンピックの決定は

問 2020年東京オリンピックが開催されますが、国民にとって大きな夢ができた。村でもリニア、三遠南信の開通で大きな夢がもてると思う。あの招致活動の様な夢に対する真剣な活動を村でも取り入れていく必要があるのでは。

村長 地域に合った夢を実現する為、村づくりに進んでいかなければと考える。



サンベリー付近



下岡幸文 議員

リニア・三遠南信時代へ

村づくりの検討は

問 リニアへの対応が近隣の市町村に比べ遅れているとの印象がある。これからの村づくりの検討はどのように進めるのか。社会資本整備や交通体系の検討は。

村長 本年度当初より庁内検討委員会を立ち上げている。小さな拠点づくり事業での検討委員会、第五次総合振興計画の策定に向けた検討と村民の皆さんの声を充分吸い上げる中で検討したい。

問 リニア・三遠南信の時代までに民生費や教育費の伸び、村の施設や村道などの大規模改修などの予測は。

村長 民生費は将来高齢化が進むことから増加を見込む。教育費は経常

経費としては横ばいとなっている。改修として考えられるのは中学校改修、農村交流センターの周辺整備、下水道長寿命化計画、必要な橋梁の修繕など。保育施設のあり方は今後の検討事項。

農業振興策は

問 村の歳入の課題は財政力指数。年々下がってきており、交付税に依存する体質が強くなっている。将来に向けて自主財源の増加策が必



棕記念館より農村交流センター方面を望む

要。そのためには産業基盤の強化と人口対策の取り組みが大事だ。特に高齢化の進行と遊休農地の増加が大きな課題の農業振興に力を入れてほしい。

村長 遊休農地対策、担い手育成など農業振興事業を区分けしながら、村単独補助金を拡充してきている。国や県、農協の補助事業なども積極的に活用する中で農業振興に取り組みたい。



木下温司 議員

定住人口対策は

問 喬木村の年齢別人口は4月現在、0歳から14歳が14.7%、15歳から64歳が53.8%、65歳以上が31.5%となっている。高齢化が進む中、定住人口確保に今後どのように取り組むのか。

村長 定住人口確保策につきましても、宅地分譲、住宅の取得、新築に関わる各種補助、出産祝い金、医療費の無料化等、様々な角度から、本村に住んでいただけるような施策を研究し、実施しております。

問 下條村との比較を通じてデータから見る限り、喬木村の子育て環境は十分配慮されているか。

村長 下條村と喬木村の子育て環境に関する施策は、そう差があるわけではないが、下條村のほうが宣伝力で、まさっていたのではないかと思う。

喬木村の基幹産業は

問 喬木村のこれからこの産業をどう発展させてゆくのか、6次産業化の中で販売戦略などを含め、交流センター周辺整備は。

村長 現時点では配置機関の業務の連絡調整や推進、村の総合観光窓口として有効に機能していると思う。今後は都市再生整備事業計画も含め検討を進める。

問 九十九谷森林公園の完成から19年が経過し、一部はくりん草愛好会の皆さんにより、素晴らしい公園として管理されているが、西側のアジサイ園については、荒れ放題となっている。今後どのように管理していくのか。

村長 公園全体として、木道、水路については、県の森林づくり県民税をいただくなかで整備を行っているが、一般的な整備に関しては皆様の協力を得ながら適正な整備を行っていきたく考えている。



出産祝金授与風景

九十九谷森林公園の管理は

問 九十九谷森林公園の完成から19年が経過し、一部はくりん草愛好会の皆さんにより、素晴らしい公園として管理されているが、西側のアジサイ園については、荒れ放題となっている。今後どのように管理していくのか。

村長 公園全体として、木道、水路については、県の森林づくり県民税をいただくなかで整備を行っているが、一般的な整備に関しては皆様の協力を得ながら適正な整備を行っていきたく考えている。



市村 富夫 議員

マイマイ蛾の産卵による、来年度の対応は

問 今年のマイマイ蛾の大量発生は、田上川、鞍馬沢地区に認められ、運動公園の夜間照明の柱にも、かなり多くの卵が産みつけられている。この卵の駆除については、どう対処するのか。

ふるさと振興課長

マイマイ蛾の大量発生は認められたが、10年に一度の大量発生の方である。今後1〜2年この状況が続く事はあるが、森林そのものへの影響はないと考える。

教育委員会事務局長

産卵の事実は確認しているが、現段階では、予算化して駆除する考えはない。



産みつけられたマイマイ蛾の卵

帰牛原分譲地は

問 帰牛原分譲地の販売価格とその根拠は。
村長 主に子育て世代が手の届く価格設定にした。1㎡当たり1万3千円、中原第一、第二分譲地と同じ位にしたいと考える。

リニア新幹線の影響は

問 リニア新幹線の通過地として、阿島北地区が予定されていて、今朝の段階で、すでに私の用意した質問と違った部分がある。何軒かの企業が通過地となっているようだが、村にとつて大事な企業が他村へ移るといふことは、喬木村にとつて大きな損失である。どのような対応をする予定か。
村長 ぜひ喬木の中へ残っていただきたい。村としてもそれ相応の面積等を確保していくつもりである。住宅地についても、同様に確保をしていきたい。

国保税値上げと、一般会計法定外繰り入れの村の考え方は

問 昨年度は国保税の医療費分が10%、今年は20%値上がりをした。村の国民健康保険の状況、実態はどうか。問題点をどう見るか。
村長 国保の加入は908世帯、被保険者は1,656名。所得なしは146世帯、100万未満は239世帯。200万未満は211世帯、300万未満は101世帯、500万未満は122世帯、500万以上は95世帯。滞納者は54名で、1,033万円余。この滞納額は早急の対応が必要であると考えている。

問 国保と民間の保険の違いは。
村長 国保は年齢構成、医療費水準が高い一方で、



特定健診の様子



元島 賞子 議員

問 今議会の補正の中で一般会計からの法定外繰り入れ分を1,300万円、一般会計へ返したが何故か。早すぎるのでは。
村長 今年は一入当たり医療分20%値上がりをした。この税率改正により、1,300万円の税収増が見込まれたので、同額を戻した。

問 くりんネットのマイク文芸の放送を復活してほしいという声を聞くがどう考えるか。
村長 俳句や短歌は日本文化の一つ。日本人の心を詠ったものだと思う。心を持つという事は非常に大事だなと感じておる。



後藤章人 議員

満蒙開拓平和記念館の活用は

問 今年4月、阿智村にオープンした満蒙開拓平和記念館を平和教育の一環として活用するため、在学中の小中学生の入館料を村で負担できるように予算化はできないか。また義務教育9年間の中、複数回見学に行くことを、喬木村独特の授業として取り入れることはできないか。

村長 子供達には是非見て欲しい施設であり、広域連合でもそういう話があり、要請もある。村としては、村の負担で見学するということは、可能であり、必要と思っている。義務教育中、複数回の見学というのは大変と思うが、1回位は良い。公民館活動として、同館の利用、利用する機会を検



満蒙開拓平和記念館

子育て憲章は

討していかないといいけない。

問 喬木子育て憲章は、大変良い内容でありながらあまり知られていないように感じるが、看板等により、村民の皆様に浸透するよう積極的に取り組むべきと思うが。

村長 利用者が何回もホームページを開いてくれるよう、また1件でも2件でも活用していただけるような方向につなげていきたい。

空き家情報は

教育長 保育園・小中学校に様々な方法で協力いただいているが、今後看板設置も含め、有効な方法を再検討していく。

問 村の空き家情報のホームページにはあまりに簡単な説明しか掲載されていない。リニア、三遠南信自動車道の開通を見据えた現在、もっときめ細かい説明にすべきと思うが。

村長 利用者が何回もホームページを開いてくれるよう、また1件でも2件でも活用していただけるような方向につなげていきたい。

遊休農地対策は

問 村内の遊休農地の最近の様子について、面積は増加傾向か、地区的にはどうか。

ふるさと振興課長

耕作放棄地全体調査を毎年行っていますが、平成22年度が144ヘクタール、24年度は168ヘクタールと増加傾向にあり、地区では大島、加々須地区に増加傾向がみられる。

問 村としての対策、補助金等については。
ふるさと振興課長 村の単独補助の農政関係には3つの柱があり、対策費は、5年以上の農地の賃貸借料の補助が68件で、106万円、排水等小規模土地改良の補助が6件で43万円、他の件と合計で176万円。



小池 豊 議員

村税の未収金対策は

イプハウス等と機械リース補助と重機借り上げの補助をしているが、個々の機械器具の補助までは考えていない。

問 税金の未収金が、4,390万円になっている。具体的な回収方策と今後の努力施策は。

住民税務課長

平成20年度より、減少はしてきている。文書催促、督促状を出しての差し押さえの講習会、滞納整理機構の講習等で、実行可能な体制を整え、未収金を減らしていく。



崩落した遊休農地



昼神二三男 議員

リニア中央新幹線計画への村の取り組みは

問 リニア計画について県レベルでは、会議、検討会などさまざまな組織を立ち上げていますが、その内容、結果が住民にはなかなか伝わってこない。

村長 勉強会、検討会、会議などが立ち上がっていたが、内容は具体性に乏しかった。

今日届いた準備書は縦覧が始まり、説明会も開催されるが、これから出てくる様々な意見は情報誌、いちごチャンネルなどのメディアを活用して情報の発信をしていく。

問 近隣町村においてリニアを見据えた土地開発行為に届出を義務

づける条例を検討している。当村の取り組みは。

村長 近隣町村の動向を見極めながら、開発行為の届出を独自の条例で定める必要があるか、慎重に検討を進めていく。

問 リニアのトンネル掘削に伴う残土の利

活用の募集内容とスケジュールは。

村長 JRは細部について未公表ではあるが、各区長を通じて残土処理のできる場所の公募などを行っていく。

問 JRが計画している村単位での住民説明会のほか、地区単位での小規模な説明会の開催を希望したいが。

村長 地区単位の説明会は、JR主催の説明会の開催状況を踏まえながらJRに要望していくとともに、秋の村政懇談会においても意見などを聞きたい。



北霊園から見たリニア新幹線ルート

問 県からの関連情報を速やかに伝達すると共に、

答 他各市町村において買い物弱者の担当窓口がふるさと振興課の部署もあるが、保健福祉課との連携をどのように図っていくのか。

保健福祉課長 住民が安心して暮らし続けるために、独居高齢者や高齢者世帯の訪問を行い、経済状況・健康状態・生活状況・将来の項目の聴きとりを行っている。また買い物にどのような支援が必要か詳細な調査をしている。調査結果をもとに施策を検討して行く。

買い物弱者対策は

問 村内多くの地域に居住している買い物弱者対策をどの様に行っているか。

答 小さな拠点づくり事業の中で、両課で参画・連携して行く。

問 日常生活に必要なサービスの拠点が村内の多くの地区から失わ

れつつある今日、村長はどのような対策を考えているか。

村長 それぞれの地域が抱える状況を把握しながら対策を検討する。今回取り組む小さな拠点づくりの中で、小売業者にも参画してもらい、各種買い物需要に応えられる店舗の設置と、村内各地からの交通ネットワークを充実させ、買い物弱者の課題解決を図って行きたい。



中森高茂 議員



村営バス「せせらぎ」号「そよかぜ」号



森谷博之 議員

三遠南信自動車道残土処理は

問 三遠南信自動車道 喬木区間も、着工に

向けて進んでいるが、残土処理候補地の状況は

村長 区を通じて情報提供を受け、現在11箇所であ

るが、引き続き探してもらっている。

問 60万立米の量は莫大であるが、村内で

賄えるのか。

村長 現地調査や地権者との話し合いも、今後

進めていくが、複数の処理場を用意することで、

全量処理は可能と考える。

問 埋め土によってできた土地の利用は区に

に任せるのか、村が関与していくのか。

村長 保安林等も含まれている所は、解除にあたり

利用計画も必要となるために、区や地権者と協

議する中で、村としても有効利用を図っていく。

矢筈ダム周辺整備は

問 矢筈ダムも建設以來長年経過し、堆積

土によって年々水面が減少している。ダムの機能

の維持や長命化には、堆積土の搬出が必要だが、村として国県へ要望する考えはあるか。

村長 昭和53年建設以來35年を経過し、年々貯水量も減少している。ダム

の目的としては土砂流失を防ぐものであるが、貯水量を確保することで、

豪雨時の流量調整や、渇水時の放流によって農業

用水確保など、多面的な機能も持っている。

矢筈ダムの一定水量確保は、村にとって重要である

ので、県に働きかけをしていく。



矢筈ダム堆積土

北部町村議会 知事・県議会へ 要望する

北部ブロック町村議会研修会において、当地区が抱える諸問題について検討した結果を9月19日に知事・県議会に対し要請・陳情した。

提出した要望事項

■交通弱者対策について

1、十数年後を見据え、地域に合った支援策の研究を県において進めること。

2、移動の支援等、交通事業者と福祉分野の調整（双方が共存できる方法、研究を県において進めて、指針を示すこと。

■子ども・障がい者等の福祉医療費の窓口無料化について

1、子どもや障がい者等の福祉医療費給付制度は、現行の自動給付方式を改め、窓口無料化とすること。

2、国に対して、一部負担金の軽減市町村（窓口無料化）への国庫負担金減額のペナルティー制度を廃止するよう要請すること。

■介護保険制度の充実について

1、介護保険制度を安定的に運営するため、国の責任において十分な財政措置を講ずること。

2、町村が設置する地域包括支援センターにおいて、介護

予防支援業務及び権利擁護業務が円滑に実施できるよう、保健師、社会福祉士等の人材確保のための財政支援を講ずること。

3、安定した介護サービスを担う人材の育成と確保を図るため、県による支援策を策定し、積極的に支援を図ること。

■農業共済制度の強化・充実について

1、果樹共済の農家負担金について、県として助成措置を講ずること。

2、南信農業共済組合の果樹共済の樹種に「柿」を創設するよう、県として農業共済組合に働きかけ、支援すること。

■空き家廃屋対策支援について

1、空き家廃屋対策を円滑かつ実効的に対応するために、法整備を進めるよう国へ強く働きかけを行うこと。

2、撤去・解体費用については、県において財政支援を講ずること。

■主要地方道松川インター大鹿線改良促進について

1、中川村渡場、滝沢トンネル間の狭隘危険箇所の拡幅改良、狭隘な西下トンネル及び井戸入沢橋架け替え等抜本的な改良促進。

■宮ヶ瀬橋早期架け替えと主要地方道伊那生田飯田線の改良促進について

1、宮ヶ瀬橋の早期架け替えの実現。

2、主要地方道伊那生田飯田

線の改良促進。 ■県道上飯田線の改良促進について 1、氏乗から小川間の拡幅改良の促進。

2、国道153号線との交差点改良促進。

■天竜川架橋の早期実現について 1、天竜川架橋、豊丘村河野高森町山吹間の早期実現。

■特別支援教育学校支援員の充実について 1、障がいのある児童生徒に対応する加配教員を必要とする学校には、県費により配置すること。

2、個別に支援が必要とする児童生徒の実態に応じ、県で配置される加配教員を増員できない学校に対しては、地方財政措置の額を増額すること。

■新たな教職員定数改善計画の完全実施について 1、国の責任において35人以下学級を押し進めるために、業務標準法を改正し、教職員定数改善計画を実行すること。

2、必要な教育条件の整備を進めるために、教育予算の大幅増額を行うこと。

■学力向上対策の充実について 1、子どもたちの全体的な学力の底上げのために、教育分野に限らず、社会環境・福祉経済分野などとの関連を含め、より多角的な学力低下の原因を把握し、具体的な方策を講ずること。

小麦栽培に取り組んで見て

加々須活性化委員会 小山憲昭

加々須区では、6年前に振興計画に基づき産業部を中心に活性化委員会を立ち上げ何か良い作物がないかと言う中で伊久間区で行っている蕎麦栽培をヒントに加々須区でも蕎麦栽培に取り組んできました。その中で蕎麦刈りが終わった後、畑を開けておいては、と言う事で、何か良い作物はないか交流センターの五島さんに相談した所、麦を作ったらとアドバイスを頂き去年10月種をまき今年6月刈り取り、はざか

け、脱穀を行い、製粉をし、小麦粉ができました。そして今年は前例にない行事、加々須夏祭りに小麦粉を使いパンをと言う事で、地域おこし協力隊の草柳さんに御指導頂き三種類のパンを作りました。又女性部の皆さんが、すいとん、おやき等作り

夏祭りのメイン料理として、皆様方と美味しく頂きました。ほぼ無農薬栽培で本当に美味しい小麦粉ができました。加々須夏祭りも大盛況に終わる事ができ、加々須区がますます発展することを願います。

この村で
**がんばって
ます!!**



収穫作業の後で

今後の予定

10月	10日	議会運営委員会 第2回臨時会・全 員協議会	11日	北部地区活性化講 演会	16日 〜17日	社会文教常任委員 会視察研修	22日	農業委員会との意 見交換会	23日	飯伊市町村議会議 員研修会	24日	北部総合事務組合 議会全員協議会・ 議会定例会	25日	北部ブロック町村 議会議員総会	
	28日	社会文教常任委員 会と教育委員会と の懇談会	29日	県町村議会議長会 定期総会	30日	三遠南信サミット in南信州	11月	12日 〜13日	総務産業建設常任 委員会視察研修 大会	13日	町村議会議長全国 大会	23日	東海地区ふるさと 会総会	28日	広域連合議会

12月定例議会に 傍聴に来てみませんか!

役場2階で開催します。
細かい日程、内容については議会事務局までお問い合わせください。
多くの方の傍聴をお願いします。

あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んでの感想など、なんでも結構です。
あなたの声を議会事務局までお寄せください。

喬木村議会 議会事務局
TEL 33-3800 (直通)
FAX 33-4511
mail gikai@vill.takagi.nagano.jp



台風18号は村内各地に大きな爪跡を残して去って行った。
土砂崩落や水位上昇によって避難するなど、あと1時間強い雨が降っていたらと思うと、背筋が寒くなる思いだ。

リニア新幹線ルートも公表され、村内通過が確かなものとなった。JR東海のイメージ図によると、村内に20数本の橋脚が立ち、天竜川を渡り長野県駅へ向かう。
7日のJR東海の説明会にも、多くの村民が出席し、質問が出された。急傾斜地、水質や水源問題、日照権や移転に対する補償、騒音対策など、生活に関する事柄が出された。

着工までには、数回の説明会が行われるが、住民の意見に真摯に対応してもらいたい。
(森谷)

編集委員会

- 委員長 森谷博之
- 副委員長 昼神三男
- 委員 下岡幸文
- 委員 木下温司
- 委員 市村富夫